

春の一般開放は春爛漫。晴れの日も雨の日もありましたがたくさんのお客様においでいただきました。



桜は散り始めていましたが、モクレンは大きな花を枝いっぱい咲かせていました(左上)。カエデの木の下にはシャガの白い花が満開。家族連れの方が楽しそうに観察していました(左)。池の水面には桜やモクレンがピンクの花びらを散らしていました。

鳥たちもお客様。珍客ツミは樹上からアオサギとカルガモは水辺で参加です



(↑来場者提供)



←オタマジャクシは一匹だけ

ワシタカのなかまのツミ(左) アオサギ(上) も来ました。カルガモ(右上)。水辺に鳥たちの足跡がついています。

アカボシゴマダラ情報



19日の活動日に見つけたアカボシゴマダラの幼虫は、公開日には新芽に向かって少しずつ動き始めていました。体の色も変わっています。



↑これは寄生蜂にやられたらしく、力なくぶら下がっています。

カメの死骸

死んだカメはどうなるでしょうか？ 生命の循環を、この池で見るようになりました。



↑カメが浮いていました。→岸に引き上げました。公開日にはウジがカメのこうらに集まっていた。引き上げられたカメにハエが卵を産んでいき、幼虫がカメの体内を食べたのです。ウジはハエに育つほか魚や鳥などのえさになります。



園内の池にカメの死骸が浮いていました。岸に引き上げて数日後、思わぬ情景が。なんとハエの幼虫、ウジがわいていたのです。下の写真はカメが水につかってしまい、ウジがこうらの中から避難して来たようです。